

# カリタス ジャパン ニュース

クリスマス&新年おめでとうございます



Merry CHRISTMAS with CARITAS

(宗)カトリック中央協議会カリタスジャパン クリスマス with カリタス係  
東京都江東区潮見 2-10-10 日本カトリック会館 6 階  
URL: <http://www.caritas.jp> TEL 03-5632-4439  
FAX 03-5632-4464 E-mail [info@caritas.jp](mailto:info@caritas.jp)

「ぬりえ/クリスマスオーナメント」を作りました

- 東日本大震災 ■ さゆり幼稚園(福島県南相馬市)に室内遊び場が完成 ..... 2  
京都暁星高等学校の東日本震災支援—17ヶ月を振り返る— ..... 3
- クリスマス募金 ■ クリスマス募金ご協力をお願い ..... 4
- 各地の取り組み ■ カトリック仁豊野教会(大阪)/久留米信愛女学院中学校(福岡) ..... 5
- 啓発部会のページ ■ カリタスソウル来日 ..... 6

隔月発行となりました。次号は2月号(2月5日発行)です。

## さゆり幼稚園に室内遊び場が完成

成井大介(カリタスジャパン援助部会秘書)

10月5日、福島県南相馬市原町区のカトリック原町教会に併設されているさゆり幼稚園に、うれしそうな子どもたちの声が響きわたりました。園舎の中に作られた、室内遊び場がオープンしたのです。子どもたちは夢中になって、うれしそうに、そして真剣に、屋内砂場でずっと遊んでいました。



砂場で遊ぶ子どもたち

さゆり幼稚園は、福島第一原子力発電所から約25キロの地点にあります。震災直後は「屋内退避区域」、4月には「緊急時避難準備区域」に設定され、この区域内の幼稚園から高校までのすべての学校は休園、休校となりました。その後、11月には13名の園児と共に再開、震災前は83名いた園児は、現在では21名となっています。

「あれが放射能だよ」子どもたちは、以前は駆け回っていた園庭を眺め、そう言っているそうです。以前のように自由に遊べなくなってしまった砂場や鉄棒などがある園庭を目の前にして、園舎内で遊ぶ子どもたちは、ものすごく窮屈な思いではないのでしょうか。

今回の室内遊び場プロジェクトは、こうした子どもたちに何とか思い切り遊べる場を提供したいという先生たちの想いによって実現しました。屋外での遊びは子どもの健全な成長に欠かせないと言われていますが、その中でも砂遊びは大切なものです。今回屋内に作られた砂場は、園舎の教室を改造して作られましたが、壁には窓が広く取られ、さらに天窓が二つ設置されたため、電気をつけなくても非常に明るく、開放的なスペースになっています。砂は、砂場に適したものが入れられ、水を入れても地面にそのまましみ込んでいく構造になっているため、泥遊びもできます。また、木でできたジャングルジムも同じ部屋に設置され、子どもたちにとって最高の遊び場になりました。

この室内遊び場は、地域の子どもたちにも開放されます。子どもたちのうれしそうな表情がここから地域に広がっていくのです。この遊び場を発案し、数々の困難を乗り越えて実現した、先生方をはじめとする関係者の皆様の情熱には本当に感動しました。カリタスジャパンとしても、協力できたことを感謝しています。砂場で山やお団子を作るように、この遊び場が子どもたちにとって希望と絆をかたち作っていく場となることを願ってやみません。

## 京都暁星高等学校の東日本震災支援—17ヶ月を振り返る—

仁科 浩(京都暁星高等学校講師)

京都暁星高等学校では震災直後から被災した方々のために祈りと犠牲をささげようと全校に呼びかけ、同時につながりのある釜石ベースと連絡をとりながら具体的な支援活動の在り方を探ってきました。日本海側の京都北部からは1000km以上離れていますが、1～2ヶ月に1度は誰かが現地に行って関わってきました。主な活動を振り返ります。

2011年5月、生徒会役員ら27名が震災支援ウォーカーソンを実施しました。この寄付金で自転車30台とイベントテントを購入し、トラックに載せて教員2名が釜石ベースに運びました。自転車は被災者に手渡し、テントはその後のベース活動で使用しています。

8月には1・2年生10名、教員保護者5名でマイクロバスに発電機・鉄板・ガスコンロなどを載せ、釜石ベースへ。鶉住居保育園で夏の縁日イベントや橋野地区の写真洗浄・栗林仮設住宅訪問・青葉通り清掃活動のほか、大槌町で被災した方と共に避難ルートを歩いて話を聞くことが出来ました。被害の甚大さと復興の道のりの厳しさを味わう一方で、被災された人々との温かな言葉のやりとりや、釜石ベースに集う人々の厚い心に触れて、文字や写真の情報では決して得られないものを受け取りました。

本校では毎年11月にフィリピン支援のウォーカーソンを全校生徒が参加して実施しています。5月に引き続き、11月にも震災支援を盛り込みました。ウォーカーソンの前に、生徒会が準備した手編みのニット帽とレッグウォーマーのセットをミンダナオ子ども図書館の方と一緒に栗林仮設住宅や大船渡教会のフィリピン人の方々の手渡しに行きました。その体験を生徒たちに報告してもらい、支援する・されるの立場を越えて協力して働くことの豊かさを伝え、ウォーカーソンへとつないでいきました。

2012年2月、卒業試験を終えた3年生有志6名と教員5名が11月のウォーカーソンで得られた寄付金を携え、凍てつく寒さの釜石ベースに向かいました。イベントテントの側面を購入し、その中でタコ焼きや鉄板焼きをすることで温かい交流の場所が出来ました。焼いてもらうばかりでなく、みんなが参加できるようにホットケーキ作りの材料を8セット用意して子供も大人の男性も気軽に入れるようにしました。無料で配る時期は震災後半年位から終わりつつありましたが、心の不安を和らげたり将来への希望を育んだり、人々の集う場の必要性は増すばかりです。高校生の元気な姿は年配者にも子どもたちにも受け入れられやすいと感じます。

2年目の5月にも震災支援ウォーカーソンを行い、33名が雨の中36kmを歩きました。このとき呼びかけたのは、大船渡ベースが関わる仮設店舗「地の森八軒街」の近くに造られる公園整備の支援でした。連休中には教員4名が釜石ベースのボランティアに参加してこどもの日のイベントなどを手伝いました。また、仮設住宅のお茶っこサロンで作っている手芸品を6月の文化祭で展示するきっかけも得られました。

8月は1次と2次に分けて生徒13名・教員と関係者11名の計24名が活動しました。側溝の泥出し・瓦礫の仕分け作業・保育園の縁日・仮設住宅の訪問・地の森八軒街の作業・釜石ベースに集う人や大船渡教会のフィリピン人とのフラダンスの集いなど様々な内容が実現できたのは、ベーススタッフの惜しみない協力のおかげです。ありがとうございました。小さな働きですが、今後も継続していきたいと考えています。

## クリスマス募金

### ☆・☆・☆・クリスマス募金ご協力をお願い☆・☆・☆

～世界の子どもたちのために～

昨年度、皆様からお預かりしました10,324,558円(390件)のクリスマス募金は、教育支援としてアジア・アフリカ地域を中心とする世界の子どもたちへ届けられました。心温かいご支援をありがとうございました。カリタスジャパンは今年も「クリスマス募金」の受付を行います。この募金は、貧困の中で生きる世界の子どもたちのために幅広く使われます。どのような環境に生まれた子どもたちも、愛に包まれ笑顔で歩んでいけますように、皆さまの愛をどうか届けてください。例えば…

3000円で アフガン難民の子ども3人に教科書と鞆を届けることができます(パキスタン)

5000円で 子ども1人が半年間温かい給食を食べ、勉強することができます(バングラデシュ)

10000円で 戦争孤児の子どもたち25人に1カ月間分の食事が提供できます(ルワンダ)

皆さまの祈りが世界をつなぎます。

それぞれのクリスマスにある静かな祈り…。

皆さまの素敵なひと時に寄り添えますように、今年は『ぬりえ/クリスマスオーナメント』(下記写真)が「クリスマス募金振込用紙」の上部についています。クリスマスに飾られた後、宜しければ彩られた『ぬりえ』をカリタスジャパンまでお送りください。ごミサで奉納します。『ぬりえ』付振込用紙をご希望の方はカリタスジャパン事務局(Tel : 03-5632-4439 Fax : 03-5632-4464 Eメール : info@caritas.jp)まで。



1回のお祈り毎に色をぬると、ツリーが彩られていきます！

二つ折にすると素敵なクリスマスオーナメントに…



『ぬりえ』送付先：

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10

カリタスジャパン

クリスマスいのりのツリー係

## 各地の取り組み

### ■カトリック仁豊野教会(大阪教区)

社会活動委員会が第5日曜日に学習会を企画しています。9月にはカリタスジャパンのDVD鑑賞会を実施しました。参加者の感想を一部紹介します。

カリタスジャパンは四旬節の若草色の封筒(愛の献金)と共に献金先として長い間馴染んでいます。が、詳しい活動のことは気にかけていませんでした。

今回のDVD映像を鑑賞して、東日本大震災支援への取り組みの内容や海外に向けての干ばつ食料危機の援助活動、母子保健支援等、その活動の仕組みや現状を知ることが出来ました。映像を見ると、単なる知識としてではなく、一つひとつの事例が身に迫ってきました。こんな所で、こんな人たちを助けるために使われているのだと、その活動をととも身近に感じることができました。献金をして、それで終わるのではなく、どこで、どのように使われているのかを“知る”ことまで私達は責任があると思いました。この“知る”という行為から、次に私達がどのような行動をするかということに繋がっていくと思うからです。

### ■久留米信愛女学院中学校(福岡教区)

9月22日に行われたバザーについて、グループ代表の生徒さんに報告いただきました。

「信愛夢バザー」は、学校の関係者だけでなく、近隣の地域の方もお招きして盛大に行われます。



募金コーナーの生徒さん



バザーの様子

バザーの収益金は、学校行事の運営や募金に充てられています。

私は、入学したときからこのバザーをととても楽しみにしていました。私達中学1年生は、学年が6団体に分かれて、各グループで企画したお店で商品を販売したりしました。私はその中の一つ「被災地支援・募金コーナー」の代表をすることになりました。東日本大震災で被災された方々のために募金を呼びかけ、募金して下さった方に記念のTシャツをお渡しするお店です。私達は募金コーナーのメンバーだけでなく、学年全員で募金をしてカリタスTシャツを着ることにしました。「被災地を応援しよう！」という気持ちが盛り上がったように感じ、とても嬉しかったです。代表をしていて大変なことも沢山ありましたが、周囲の皆やカリタスジャパンの事務局の方からの「頑張ってるね」という一言で元気をもらいました。バザーの会場でも、募金を呼びかけていたら、沢山の人が「頑張ってるね」と声をかけられました。被災地を応援しているつもりでしたが、活動を通して逆に元気をいただきました。バザー当日は、学校全体が明るく、笑顔いっぱい活気にあふれていました。

私はカリタスジャパンの事務局から届けられた掲示用の被災地の写真を見て、まだ以前のような生活に戻っていない方が沢山いらっしゃるという事実を知りました。今回の募金活動を通して一人の力では小さいけれど、皆で協力し、力を合わせると誰かを支えることができるということを学びました。今回体験したことをこれからは活かしていきたいと思います。協力してくれた沢山の皆さんに感謝したいと思います。

## カリタスソウル来日

10月15～17日、カリタスソウル(韓国)から3名のかたが、日本のカトリック教会関係の自死防止の取り組み視察のために来日しました。韓国は、2004年に自殺率(人口10万人あたりの自殺者数)が20人を超え、2009年には30人を超えたまま、2010年には世界第一位、2011年には世界第二位という高い自殺率となっています。とくに若者と高齢者の自死が多いという状況です。

韓国のカトリック教会では、10数年前から、多くの自死者を生んだカトリックの軍人や兵士向けの自殺防止プログラムを開始しました。また2年前にカリタスソウルの傘下に「自殺予防センター」を設立し、相談事業、啓発教育事業、認識改善キャンペーン、コールセンター、電子メール相談、ゲートキーパー養成などのプログラムを行なっています。

今回の来日では、幸田司教(カリタスジャパン担当司教)や啓発部会事務局との話し合いだけではなく、東京自殺防止センター、上智大学グリーンケア研究所を訪れ、またNPO自殺対策支援センターライフリンクと話し合う機会を設けました。

カリタスソウル自殺防止センター長のキム修道女は「韓国では、医師や医療関係者の力が強く、自殺防止活動に専門性を要求される背景があるが、日本では、多くの教会関係者をはじめ、一般の人が、ボランティアで自殺防止活動に関わっていることに驚いている」と述べていました。また、カリタス韓国の役員でカリタスソウル事務局長のチョン神父によると「韓国では早くからカトリックの自殺防止センターを設立し、様々な事業に取り組んでいるが、日本のように意識調査をして現状を把握したり、勉強会や分かち合いを開いて皆で学びあっていく姿勢を後押しするという取り組みはなかった。今後、参考にすべき点の一つだ」とのことでした。また同神父は、上智大学グリーンケア研究所での「悲嘆は病気ではありません。ですから医者では治せないのです」という研究員の言葉に「日本の自殺防止の取り組みの姿勢を感じることができた」とも話していました。カリタスソウルからの提案で、来年度、日韓カリタス共催で、自死に関するシンポジウムが開催される予定です。

(事務局：喜代永文子)

### ★訂正のご案内

『続・自死の現実を見つめて—思いをわかち合う—』の28ページに記載されている「NPOグリーンケア・サポートプラザ」の電話番号に誤りがありました。正しい電話番号は次のとおりですので、訂正をお願い致します。

**NPOグリーンケア・サポートプラザ 03-5775-3876**

## 国際カリタス緊急支援要請(Emergency Appeal/EA)

(援助金は国際カリタスを通して、現地のカリタス救援本部に届けられます)

### 1. ナイジェリア：食糧危機緊急支援(EA26/12 CJ: 024-12)

援助団体：カリタスナイジェリア(Caritas Nigeria)

¥ 492,450

サヘル地帯に位置するナイジェリア北部では、干ばつにより地域の人口の約半数に当たる1300万人が食糧難に苦しみ、220万人の5歳以下の子どもたちが栄養不良です。カリタスナイジェリアは、食糧券の配布や衛生啓発活動を行います。また、首都のあるプラト一州ではこれまでも政治的そして経済的な理由で住民同士の争いが繰り返されていましたが、今年4月から7月にかけて、リヨム地方行政区で家畜所有者と貧困農民の衝突が起こり、死者20人、そして約1万人の避難者を出す事態となりました。カリタスナイジェリアはこれら避難者に、食料や寝具、食器など日用品の緊急支援を行います。

### 2. エチオピア：干ばつ復興支援(EA27/12 CJ: 025-12)

援助団体：カリタスエチオピア(Caritas Ethiopia)

¥ 492,100

農業が主要産業のエチオピアですが、遅れた農法、自然環境の悪化、インフラの未整備、中でも昨今の頻発する干ばつとその他の自然災害により、人々を賄えるだけの十分な生産量がありません。2012年1月にエチオピア政府は同年6月まで320万人が人道支援を必要とすると発表しました。カリタスエチオピアは2011年政府と共に緊急支援を行いましたが、将来的な災害への脆弱性を軽減するために復興活動を重要視し、食料や家畜の生産・飼育方法の改善、収入創出活動、井戸建設と水管理委員会設置による安全な水へのアクセス改善を行います。



自らの手で井戸を建設する住民

### 3. ケニア：干ばつ復興支援(EA28/12 CJ: 029-12)

援助団体：カリタスケニア(Caritas Kenya)

¥ 393,550

ケニアでは近年連続する干ばつの間隔が短くなってきており、2011年には過去60年で最悪の状況となりました。これまで比較的食料の確保ができていた地域も危機に見舞われています。2011年カリタスケニアは緊急食糧プログラムを実施しましたが、今般、貧しい世帯の将来的な干ばつ被害に対する回復力強化を視野に入れた計画を立案しました。水の確保・管理と衛生啓発、農法や家畜管理の改善、干ばつ対策や食糧安全保障に関するアドボカシー（提言）活動を行います。

#### 4.レバノン：シリア危機難民支援(EA29/12 CJ: 030-12)

援助団体：カリタスレバノン(Caritas Lebanon) ￥515,100

シリアで続く内戦の影響で、ヨルダン、レバノン、トルコへ流入する難民数が増え続けています。UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)に登録された難民数は15万7千を超え、うち約4万人がレバノンにいます。カリタスレバノンを含む様々な国際機関が人道支援を行ってきましたが、シリア国内の危機的状況がまだ収束せず、帰還は望めないため、難民への支援のニーズはますます高まっています。今年4～6月に実施された緊急支援に引き続き、カリタスレバノンは、生活用品、冬用毛布や暖房器具、シェルター(緊急避難所)の提供、医療サービスや心理ケアを行います。

## 海外援助

#### 1.イラク：母子保健支援(CJ: 015-12)

援助団体：カリタスイラク(Caritas Iraq) ￥2,350,500

度重なる紛争を経て、いまだ緊急状態が続くイラクでは、多くの国民が貧困に苦しみ、特に弱い立場にある子どもや妊産婦が生命の危険にさらされています。このプロジェクトは2005年に始まって以来継続的に、主に子どもと母親を対象とし、栄養価の高い食料の提供、予防接種や診療、子どもの成長に必要な栄養知識や衛生習慣を学ぶセミナーを実施しています。収入創出のための職業訓練や、地域での平和醸成に向けた住民同士の関係作りも進めます。

#### 2.モンゴル：カリタスモンゴル事務局支援(CJ: 026-12)

援助団体：カリタスモンゴル(Caritas Mongolia) ￥1,454,177

モンゴルの首都ウランバートルに事務所を置くカリタスモンゴル事務局は、モンゴル国内のさまざまなカリタスプロジェクトを支え、各プロジェクトが円滑に滞りなく進んでいくための人事、総務、経理、各事業視察など大切な役割を担っています。カリタスジャパンは、カリタスモンゴル事務局が力強く活動して行くために、職員給与の一部を支援します。



カリタスモンゴル事務局スタッフ(事業視察の様子)

#### 3.モンゴル：女性の職業訓練センター支援(CJ: 027-12)

援助団体：カリタスモンゴル(Caritas Mongolia) ￥2,035,331



国内の経済格差が広がるモンゴルでは、仕事を求めて地方から都会へ移り住む多くの女性たちが定職に辿り着けず、僅かの国の援助を頼りに貧しい暮らしを送っています。モンゴルの首都郊外バヤンホシュ・ゲルエリアにあるこのセンターは、ゲルエリアで暮らす女性たちに職業訓練の機会を提供し、現金収入を得るための道づくりをサポートしています。



職業訓練センターで縫製を習う女性

#### 4.パキスタン：アフガン難民教育・職業訓練支援(CJ: 028-12)

援助団体：ヒューマン・ケア・ソサエティ (Human Care Society Lahore)

¥ 2,534,258

アフガン隣国であるパキスタンには、約170万人ものアフガン難民が本国へ戻れないまま避難生活を余儀なくされています。このプロジェクトは、ラホール近郊3地域の複合教育センターを通じて、アフガン難民の子どもたちへの基礎教育支援、青年男女を対象とした職業訓練に取り組んでいます。将来、本国へ帰還できた際、アフガン社会に適応していけるように‘帰還後生活に役立つための教育支援’を届けています。



センターの授業の様子

## 国内援助

#### 1.札幌教区：施設整備事業(CJ: 12-029)

援助団体：カリタス家庭支援センター

¥ 714,500

当団体は、2004年に札幌教区の支援を受け設立され、様々な理由により生活に困窮する人々の相談対応を行っています。現在は、全国から相談が寄せられ、その数は年間約1600件にのぼります。相談者が増えるにつれ、施設の改修も必要になってきました。運営自体は札幌教区の支援を受け行われていますが、設備整備のための資金が不足しています。カリタスジャパンはそのための費用を支援決定しました。

## <東日本大震災>

#### 2.仙台教区：保育室他改修事業(CJ: 12-024)

援助団体：原町さゆり幼稚園

¥ 13,125,000

福島県南相馬市にある原町さゆり幼稚園には、2012年4月震災後一時避難していた園児が21名戻ってきました。園児たちは固定遊具での遊びが殆どで、以前のような砂遊びや泥んこ遊びはできない状

況にあります。そこで屋内で砂遊びもできるよう保育室の改修を計画しました。カリタスジャパンは、建設費の支援を決定しました。土曜日、日曜日の園児が使用しない時は広く地域に開放されます。【本号2ページ参照】

### 3.仙台教区：被災学生の授業料減免措置(CJ: 12-027)

援助団体：仙台白百合女子大学 ¥ 4,500,000  
震災で被災した家庭の学生に対して、授業料の減免処置が行われます。対象学生約200人。必要となる資金の一部は行政からの補助金が得られますが、足りない部分の原資を確保すべく学校でも募金呼びかけなどの取組みを行っています。カリタスジャパンからも支援を決定しました。

### 4.仙台教区：南三陸における心のケア活動(CJ: 12-028)

援助団体：パストラルケアセンター HUGハウス ¥ 6,000,000  
当団体は神戸の団体でカウンセリングや心のケア活動を行っています。震災後現地に赴き、南三陸町に拠点を置き、仮設住宅をまわって活動を行っています。心のケア活動は長期的な取組みが求められています。カリタスジャパンは、活動費の一部を支援します。

## 活動日誌

### 2012年9月7日(金)カリタスジャパン委員会

報告(1)東日本大震災対応 (2)パキスタン視察(7月26日-8月6日) (3)福島支援会議 (4)2012年度援助実績 (5)6-7月度収支および募金 (6)2012年四旬節献金総額60,605,977円 審議(1)スリランカ視察(11月22-28日)承認 (2)正義と平和全国集会2012長崎大会(10月6-8日)参加承認 (3)国際カリタス事務局のプログラム支援へ年額20,000ユーロ承認 (4)国際協力NGOセンター (JANIC)への協力会員加盟承認 (5)2013年度事業計画について (6)東日本大震災対応について(資金見通しと福島支援) (7)東日本大震災二周年活動報告書編集について (8)2013年四旬節小冊子編集について (9)募金増額に向けて意見交換 (10)援助案件 4件(国内1、海外3)を審査、承認 (11)国際カリタス緊急支援要請(EA)2件を決定

### 2012年9月20日(木)啓発部会

報告(1)東日本大震災対応 (2)シンポジウム、学会参加報告 (3)カリタスソウル来日について 審議(1)2013年度事業計画について (2)被災地での遺族の会との協力について

### 2012年10月12日(金)援助部会

報告(1) 国際カリタスによる情報共有システム(Baobab)についてのワークショップ(バンコク/9月24-27日) (2)正義と平和全国集会2012長崎大会(10月6-8日) (3)援助実績 (4)東日本大震災対応 審議(1)東日本大震災対応(資金見通しと中長期活動計画) (2)今年度クリスマスキャンペー

ンについて (3) 援助案件 8件(国内5、海外3)を審査、5件(国内4、海外1)を委員会へ付託、3件を却下 (4) 国際カリタス緊急支援要請(EA)4件を決定

## 献金者名簿

2012年8月1日～9月30日の間に募金下さった方々です(一部を除く)。

●個人・団体・敬称略●匿名の方へも御礼申し上げます。

### 【札幌教区】

第47回カトリック苫小牧地区女性大会、釧路カトリック幼稚園、天使幼稚園マリータの会、室蘭教会、帯広教会、利尻教会、留萌教会聖パウロ祭実行委員会

### 【仙台教区】

阿部かね子、金芝秀、高橋亜弓、佐々木篤子、佐藤久美子、大友幸子、洞江幸男、萩野誓也、小名浜白百合幼稚園、八木山カトリック幼稚園、青森明の星短期大学、北仙台教会

### 【新潟教区】

安食裕夫、島倉ケイ、聖霊女子短期大学付属高等学校、秋田教会、新潟教会

### 【さいたま教区】

Mariela Kasano、岩間勝、溝井光子、川村智子、聖クララ幼稚園PTA、佐野教会

### 【東京教区】

Michael Chris Young、ロベルト・レオン、伊藤清子、横山京子、岡田澄子、加藤妙子、外山攻・慎・洋・経子、古木滋子、高瀬映子、三宅英美子、小林ひろ子、斉藤小百合、石井靖人、石崎嘉正、早田道子、相馬靖雄、大菅淑子、瀧浦萌、池田豊、鳥越一善、直江成子、内村睦子、木村哲夫、鈴木進、谷口不二男、カトリック信者「平和祈願有志の会」、ペレグリノス、(社)チェリー・ブロッサム、ヨゼフ会高木医院、聖マリア保育園、枝光会附属幼稚園バザー、枝光学園幼稚園、上智大学ボランティア・ビューロー、東星少年少女合唱団、関口教会、亀有教会、五井教会、渋谷教会、小平教会、成城教会、成田教会コーヒーチャリティー、八王子教会喫茶ナザレ、府中

教会、イエズス会、サレジアン・シスターズ管区本部、無原罪聖母宣教会東京修道院

### 【横浜教区】

Wevina Nelsa B. Ishida、セキヤ・ハツエ、井上かずみ、簡奈津子、関浩三、菊地キン、栗原章子、春原昇、星野剛一、西岡洋、赤根谷玲子、千原恵子、浅川隆子、長野さみゑ、鈴木典子、國分典子、3.11チャリティーコンサート実行委員会、ゆりの会、ラ・コルテ、静岡グロリア混声合唱団、米海軍厚木基地教会、湘南白百合学園幼稚園、カリタス女子短期大学キリスト教文化部、聖マリア小学校、目黒星美学園同窓会、カリタスジャパン横浜教区支部、磯子教会、菊名教会聖書100週間の会、篠ノ井教会、中原教会教会学校ボーイスカウト川崎第22団、二俣川教会

### 【名古屋教区】

手塚靖子、森宣子、森下忠雄、水野美波子、杉浦まり、西村チズ子、斉藤誠、大谷晴美、二元会中部支部、岐阜教会、南山教会

### 【京都教区】

奥村董美、上杉清治、瀧口勇太、田中政男、有竹利恭、高田カトリック幼稚園、草津教会海の日コンサート、田辺教会、彦根教会墓地管理委員会、善きサマリア人修道会奈良修道院

### 【大阪教区】

Harvey Paul A.S.、Robert Shannon、奥村、横井美子、丸石哲史、鬼澤昭二、玉川勝己・叶恵、熊谷素也、桑本肇、小坂田さち子、松田慧三、上地高弘、西澤明夫、川上アイ子、大鋸厚生、大橋襄、大江時雄、池尻潤治、田村洋三、疋田珠子、塔眞美、賢明学院小学校、熊取教会、生野教会、聖フランシスコ病院修道女会

**【広島教区】**

高橋要順、丹邦子、福木みゆき、高千帆教会、北若山教会、援助マリア修道会

**【高松教区】**

近藤恵津子、林啓介、長尾聖母幼稚園

**【福岡教区】**

伊東由美子、間瀬雅夫、久保田巖康、坂野忠幸、川内恵美子、村尾慶子、白浜満、木村久治、高野恵子、唐津カトリック幼稚園父母の会、聖マリア学院大学、ピース9の会(久留米)、呼子教会

**【長崎教区】**

横田裕子、川口清、けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会本部修道院

**【大分教区】**

三浦葎江、清田緑・花、望月まり子、カトリック明野幼稚園、宮崎教会、けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会潔き聖母修道院

**【鹿児島教区】**

田代皎子、川内聖母幼稚園、母間教会

**【那覇教区】**

柳澤敦子、クララ幼稚園、首里カトリック幼稚園、真栄原教会

**【その他】**

アリマトシコ

匿名の方 287件

〔2012年8月1日～9月30日の献金額〕	〔単位：円〕
四旬節献金	384,957
国内援助	360,348
海外援助	2,084,689
スーダン支援	23,000
ハイチ地震	504,000
東日本大震災	8,447,469
クリスマス募金	50,000
運営寄付	135,830
	<hr/>
	11,990,293

## カリタスジャパンの活動へのご支援を今後ともよろしくお願い致します

パチカンに本部を持つ国際カリタスの一員として活動しています。国際カリタスは、国連経済社会理事会認定の最大級の国際 NGO 組織で、全世界 165 ケ国が加盟しています。

カリタスジャパンの活動は皆様の日頃の募金と「四旬節 愛の献金」によって支えられています。

募金専用の郵便振替用紙をご用意しておりますので事務局までご請求下さい。

なお、お名前にはフリガナをお書き下さり、グループ名・修道会名は正式名称でご記入くださいますようお願い致します。

## Caritas Japan News

No.117(2012年12月号)

通算発行番号 No.299

隔月20日発行

郵便振替番号 00170-5-95979

宗教法人カトリック中央協議会

**カリタスジャパン**

発行人 菊地 功

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館

TEL 03(5632)4439 FAX 03(5632)4464

E-mail [info@caritas.jp](mailto:info@caritas.jp)

ホームページ <http://www.caritas.jp>